



療、福祉施設4カ所にチューリップの鉢植え計55個を

しても晴れてくれればうれしい」と話した。

ワイン用ブドウ栽培
放棄地開墾へ融資

日本公庫

日本政策金融公庫金沢支店農林水産事業は13日まで

に、羽咋市の耕作放棄地を開墾し、ワイン用のブドウ栽培に取り組む藤島健一さん(43)＝津幡町＝に融資を行った。藤島さんは栽培面積の拡大に取り組んでおり、借り入れた資金を苗木や肥料、噴霧器の購入資金に充てる。融資額は非公表。藤島さんは今年、開墾し

た放棄地1・2畝で生産を始め、収穫したブドウを使って委託醸造を始めた。今

秋からさらに1畝の開墾を進めており、栽培品種を現在の5種から7種に増やしたい考え。将来はワイナリ

金沢のデザイナー
作品でカレンダー

興能信金

興能信用金庫は2023年版カレンダーを1万4千枚制作した。毎年、石川県を拠点に活動する若手アーティストの作品を紹介して

ーを作って、就労支援施設とも連携しながら農福連携の実現も目指す。

公庫は地域産業の活性化や新規就農者への支援につながることから融資を決めた。

おり、金沢市在住の建築・家具デザイナーの甲斐晋さんを取り上げた。

カレンダーには甲斐さんが製作したペーパーナイフが掲載された。建築物などを製作する過程で発生する木材の端材で作られている。

し、賃貸住宅か社会福祉施設導入すべきと答申した。敷地は2099平方メートルで、福と協議後、入札を行う。24年度に落札者と定期借地権を結ぶ予定となっている。

◆北陸の景気「改善」

中部圏社会経済研究所(名古屋)は北陸三県の9月の景動向を発表し、基調判断の現は「改善している」、先行きは「改善することが見込まれる」とした。いずれも前月の判断据え置いた。

◆従業員に株式報酬

異谷(射水市)は12日の取締役会で、譲渡制限付き株式報酬として自己株1万200株を従業員90人に割り当てると決めた。処分価額は1株576円。総額587万5200円。払期日は来年2月7日とする。

12/14

が、24年度の80万に増額することや、現役世代の負担を軽減する見直しが必要。一時金は現在、主

に現役世代の保険料が原資で、24年度からは75歳以上も保険料で一部を拠出する。

推奨で総額3000億円

旧統一教会元幹部証言

家庭連合 金のための借金を推奨し、
靈感商法 借金の総額が3千億円に上
1990 っていたと元教団幹部(78)
信者に献 が13日までに共同通信の取

材に証言した。93年1月に当時の教団会長が、被害救済に取り組む弁護士に「借金3200億円ある」とする通知書を送っている。

その後教団側は否定したが、証言はこれと整合する内容だ。

しているが、過度な献金が始まった経緯の一端と言えそう。信者による高額献金は現在も問題化しており、10日に成立した被害者救済法は、寄付の際に借金や生活に不可欠な資産の処分による資金調達を要求する行為を禁じた。教団広報は「出所が分からない話であり、コメントできない」としている。

元幹部は当時、中国地方で教会の責任者を務めていた。証言によると、教団が

80年代から活動の場を世に広げていく中で活動資金を賄いきれなくなったため、信者が働く各地の事業部では目標額を掲げて宝やつぼを販売し、教団にり上げを納めるようになった。

事業部が開拓した新顧客は研修を経て信者なり、教会への献金に加事業部の目標に届かない場合の穴埋めなどとして借金をする人が出てきたという。元幹部は「借金の

オンライン化

特定宗教遮断は回避を